

平成24年度 スポーツ教材提供先募集のご案内

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(Yamaha Motor Foundation for Sports)は、心身ともに健全で逞しい子どもたちの育成を目的として、幼児～中学生を対象にスポーツ教材の提供を行います。

全国各地の保育園・幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ団体(スポーツ少年団、スポーツクラブ・スクール)、教育委員会、体育協会等において活用していただくことにより、教材の活用を通して子どもたちが外で楽しく体を動かすきっかけとすることで、スポーツ好きな子どもを増やし体力・運動能力向上や心身の健全育成の一助としていただき、スポーツの裾野拡大につなげることを目指しています。

子どもたちのスポーツへの親しみの場や、さまざまな運動機会に取り組む機会において有効に活用いただきたく、上記趣旨をご理解の上、ご申請ください。

< 記 >

- 目的 運動神経が急速に発達する幼児から中学生を対象にスポーツ教材を提供し、子どもたちが外で楽しく体を動かすきっかけとすることで、スポーツ好きな子どもを増やし体力・運動能力向上や心身の健全育成の一助としていただき、スポーツの裾野拡大につなげることを目指す
- 募集期間 平成 24 年 4 月 16 日(月)～ 6月 8 日(金)
- 提供団体 幼児から中学生を対象に、「運動機会の拡大に向けた取り組み」を計画している100団体
- 提供教材 下記よりいずれか1セット (総額約220万円相当)
 - (1) サッカーボール 5個セット
 - (2) タグラグビーセット(タグボール 5個、タグベルト 20組、公式BOOK 1冊)
- 対象団体 幼児から中学生の子どもたちを対象に「運動機会の拡大」を目的として活動をしている団体
保育園・幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、総合型地域スポーツクラブ、
スポーツ団体(スポーツ少年団、スポーツクラブ・スクール)、教育委員会、体育協会 等
- 申請方法 「スポーツ教材申請フォーム(<http://www.ymfs.jp/>)」にて申請
- 審査方法 6月15日(金) 書類審査および抽選
- 結果発表 6月20日(水) 書面にて通知
- 教材発送 7月上旬(予定)

※詳細は、次ページの募集案内をご覧ください

■この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(YMFS) 事務局: 担当・平塚

〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500番地 Tel. 0538-32-9827 Fax. 0538-32-1112

＜スポーツ教材提供の募集内容＞

■募集期間：平成24年4月16日(月)～6月8日(金)

■対象団体：幼児から中学生を対象に「運動機会の拡大」を目的として活動をしている100団体
 保育園・幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、総合型地域スポーツクラブ、
 スポーツ団体(スポーツ少年団、スポーツクラブ・スクール)、教育委員会、体育協会等
 (前回平成22年度は47団体、平成23年度の提供は中止し被災地支援として実施)

■提供教材：(1)サッカーボールセット または、(2)タグラグビーセットを提供します。
 学習指導要領で取り上げられている「ゴール型ボール運動」や、「さまざまな運動機会への取り組み」において活用していただき、子どもたちが楽しく体を動かすことで運動が好きになり、体力・運動能力の向上や心身の健全育成、スポーツの裾野拡大への一助となることを目的として下記の教材いずれか1セットを抽選の上、提供いたします。

(1)サッカーボール 5個セット	(2)タグラグビーセット
	
幼児向け：Adidas タンゴ12ルシアーダソフト(3号球) 小学生向け：Adidas タンゴ12ジュニア290 (4号球) 中学生向け：Adidas タンゴ12ルシアーダ(5号球)	・セプター タグボール 5個 ・セプター タグベルト 20組 ・だれでもできるタグラグビー(公式BOOK) 1冊

■申請方法：当財団ホームページ <http://www.ymfs.jp/> の「スポーツ教材申請フォーム」に入力の上申請
 (教材申請の目的、テーマ、目的実現に向けた具体的手法、実施スケジュール)

■審査方法：書類審査の後、6月15日(金)に第三者による厳正な抽選にて提供先を決定
 (申請数に応じて、幼児・小学生・中学生向けそれぞれの団体ごとに提供数を割り振ります)

■結果通知：6月15日(金)申請時に発行する受付番号にて提供決定団体を速報(<http://www.ymfs.jp/>)
 6月20日(水)すべての申請団体に書面にて発送

■教材発送：提供が決定した団体宛、7月上旬に発送予定(発送前にメールにてご連絡します)

■報告事項：教材提供先の団体は、平成25年1月末日までに教材活用実績を報告(写真添付必須)

※注意事項：必ず下記項目をご理解の上、申請ください。

- (1) 当事業は、幼児から中学生の子どもたちの「運動機会の拡大に向けた取り組み」を計画している団体に役立てていただくことを目的としています。具体的な使用の計画がない教材に対する申請はご遠慮ください。
 申請時には、必ず「教材を活用した活動テーマ・具体的手法・実施スケジュール」について簡潔に記入してください。内容が不明確な場合には、申請が無効となる場合があります。
- (2) 団体からの申請のみが対象となり、個人での申請は無効となります。
- (3) 申請は1団体につき1件です。同一団体からの申請が複数あった場合は、最新の申請のみを受け付けます。
- (4) 提供先決定後の連絡は、おもに電子メールを通じて行います。確実に連絡がとれるメールアドレスの記入をお願いします。
- (5) 教材提供先に決定した団体には、平成25年1月31日までの使用実績について必ず報告していただきます。
- (6) 教材の活用実績について取材協力をお願いをする場合があります。
- (7) 教材の破損等に伴う修理や部品等の補充は、使用団体の責任でお願いします。

【参考】

スポーツ教材活用事例紹介

前回(平成22年度)のスポーツ教材提供団体(47団体)からいただいた活用報告より一部の事例をご紹介します。

各団体において、教材を工夫して活用していただくことによって、子どもたちの体力・運動能力の向上のみならず、意欲・向上心の喚起や興味・関心の広がり、そして、協調性や相手を思いやる心など、心身両面において成長していく姿がうかがえました。今後の子どもたちへの指導における参考にさせていただければ幸いです。

<p>久留米信愛女学院中学校 (福岡県久留米市)</p>	<p>提供教材:サッカーボール</p>
<p>寒くても屋外で楽しく身体を動かし、強く安定した心身を育む さまざまなスポーツへの取り組みを通じて、これからは生き抜くたくましさを身に付ける</p> <p>グローバルな時代に活躍する女性の育成として国際交流や語学教育に注力する一方で、屋外で体育を行う日は見学者も多く、グラウンドを使う競技の部活動は生徒の人数不足や顧問の不在などもあり活発とは言えない状況でした。</p> <p>また、「近頃は安定志向で果敢にチャレンジする生徒が少ない。スポーツを通じてもっと精神的強さも身につけて欲しい」という校長先生の発案により、様々な競技種目に触れさせる活動の一環としてグラウンドでの体育の授業を増加。そこで、提供されたサッカーボールを活用し、グラウンドでの体育にサッカーを採用。</p> <p>競技力を向上させることよりも、ボールを使ってわいわい楽しみながら身体を動かすことを重視したことによって、屋外での体育への抵抗が緩和され、見学者も激減。さらに自主性も芽生え、体育祭や生徒会活動を生徒たちがより率先して行うようにもなりました。</p>	
<p>みのり幼稚園 (茨城県つくば市)</p>	<p>提供教材:ラグビーボール</p>
<p>子どもたちの可能性を広げる、新しい取り組みとしてラグビーに挑戦！ 他者への思いやりと逃げない強さ、そしてコミュニケーション能力を育む</p> <p>「何がきっかけで子どもの能力が開花するか分からない。6歳までに日頃あまり体験できないことを色々させたい」という園長先生の熱い想いで取り組むラグビー体験。</p> <p>ラグビー経験者である卒園生の協力のもと、年長児がラグビーボールを手に走り回ります。チームワークが重要なスポーツである「ラグビー」に習い、子どもたちは、ボールを友達に上手く渡せるように大きな声をかけながら相手のことを考えて工夫して丁寧に渡します。このようなやりとりを通して、コミュニケーション能力が高まります。</p> <p>また、子どもたちは「ボールを投げる、受ける、持って走る」のみならず、「タックル」の体験もします。身体をぶつけて痛みを感じることで相手の痛みも分かり、人間関係でも逃げない強さとやさしさが得られます。</p> <p>ラグビーボールをカリキュラムに取り入れたことにより、体力増強につながっただけでなく、精神面でも大きくプラスに働いています。</p>	

スポーツ教材活用事例URL : <http://www.ymfs.jp/project/support/supply/report/>